

## 欧州銀行のストレステストについて

7月23日に欧州銀行監督委員会は、EU諸国の大手銀行91行を対象に実施したストレステスト(健全性審査)の結果を公表しました。

### ストレステストについて

#### <ストレステストの対象>

本テストは金融経済環境が大幅に悪化し、銀行のバランスシートに一定程度のストレスがかかった場合、銀行の保有証券や貸出債権等によどの程度の損失が発生し、銀行のTier1比率(中核的自己資本比率)がどの程度減少するのかを試算する目的で実施されました。期間は2009年末をベースとして2010年および2011年に適用し、2011年末時点のTier1比率を算出しています。銀行セクター全体および個別行ベースで結果が発表され、Tier1比率6%を境界値として設定し、6%未満となった不合格行に対しては、今後の資本増強計画等について各国の銀行監督当局との協議を促すとしています。EU(欧州連合)加盟国の大手91行をテスト対象とし、EU加盟全27ヶ国について、銀行セクターの総資産ベースで約65%がカバーされることとなります。

#### <ストレステストの前提>

テストのシナリオとして、標準シナリオと悪化シナリオの2種類を実施しています。悪化シナリオの場合は、EU加盟各国に対する懸念(ソブリンリスク・ショック)から生じる金融関連損失、具体的には銀行が保有する国債の価格下落により生じる損失金額を追加的に算出しています。マクロ経済環境の前提としては、悪化シナリオの場合、EU全体の実質GDP成長率が2010年は0.0%、2011年は0.4%と再度景気後退に陥ることを想定しています。“ソブリンリスク・ショック”に伴う保有国債の損失金額の算出においては、2009年末の市場価格に対してEU加盟各国毎に異なる損失率を適用しています。具体的には、財政赤字懸念が強いギリシャ国債には23.1%、スペイン国債には12.0%など、加盟国ごとに異なる損失率を用いて損失金額が算出されました。2010年6月末までに発表された増資や資産売却などの経営計画については、自己資本比率の計算に参入し、これまで自己資本注入など大規模な政府支援を受けた銀行については、政府支援承認の条件としてEUから賦課された各種リストラ計画を反映しています。

#### <悪化シナリオのストレステストの結果>

欧州銀行セクター全体の最大損失金額は2010年、2011年合計で5,659億ユーロとなり、Tier1比率は2009年末の10.3%から2011年末には9.2%まで低下するとしています。

また、個別行ベースにおいて、2011年末のTier1比率が6%を下回る「不合格」行となったのは、ドイツの不動産金融大手ヒポ・リアル・エステート、ギリシャ農業銀行、スペインの中小銀行5行の合計7行で、7行合計の自己資本不足額は35億ユーロとなりました。

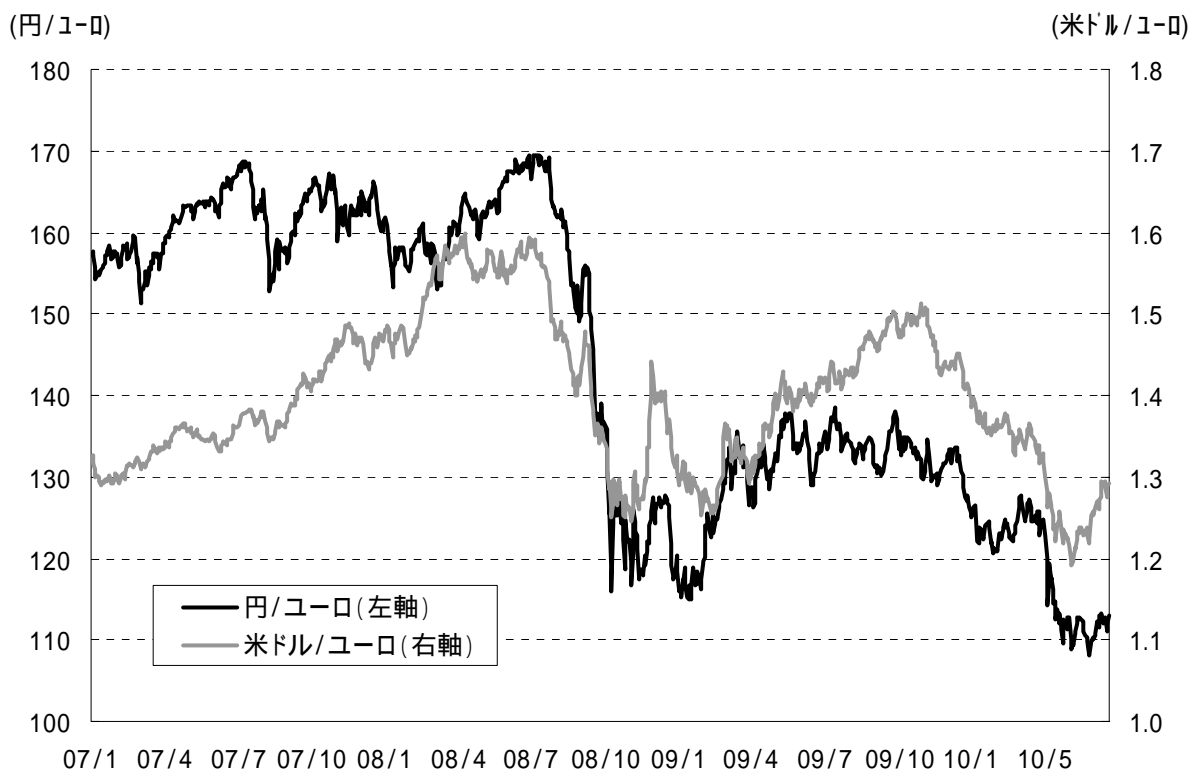
## 今後の見通し

本結果発表は、23日の欧州市場終了後であったことから、市場の反応は週明け月曜日を待たねばなりません。本発表後も取引されていたCDS(クレジットデフォルトスワップ)市場では、これまで銀行セクターに対する懸念の高かったスペインのCDS水準が前日比ほぼ横ばいで取引を終了しました。また為替市場では、ユーロの対ドルレートがニューヨーク市場取引終了にかけてほぼ横ばいで引けています。

本テストの結果公表自体は、欧州銀行セクターに対する不透明感が一定程度払拭されたという点ではポジティブな効果があると考えられます。発表されたテスト結果自体は概ね金融市場の予想通りだったことや、前述の通りCDS市場や為替市場の反応が限定的であったことから、週明けの金融市場への影響も大きくはないと見られます。中長期的な見通しとしては、今後も銀行セクターの業績回復傾向が継続し、緩やかながらも金融システムは安定化に向かうと予想しています。

以上

### 【ユーロの対円・対米ドルレートの推移】(2007年1月1日～2010年7月23日、日次)



(出所: Bloomberg より DIAM 作成)

#### 【投資信託に係るリスクと費用】

##### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

##### 投資信託に係る費用について

投資信託は、お申込手数料、信託報酬、信託財産留保額等の費用が発生する場合があります。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

申込時に直接ご負担いただく費用…… 申込手数料上限3.675%(税込)

換金時に直接ご負担いただく費用…… 信託財産留保金上限0.5%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用…… 信託報酬上限1.9225%(税込)

その他費用…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント(株)が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。

#### 【ご注意事項】

- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が独自に作成した資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
- ・ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 当資料における内容はあくまでも作成時点(2010年7月26日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

#### 証券投資信託は、

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。